

令和2年度東部地区学力向上推進協議会

(研究発表会)



令和3年1月22日(金) 春日部地方庁舎301会議室
(新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して開催)

令和2年度の東部地区学力向上推進協議会(研究発表会)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者を東部管内の各市町教育委員会学力向上推進担当指導主事に限定し、規模を縮小して開催しました。

東部地区の児童生徒の学力向上を目的とした本研究発表会では、『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業に係る成果報告を松伏町教育委員会・松伏町立松伏第二小学校に、「学力向上研究校指定事業」に係る成果報告を三郷市教育委員会・三郷町立彦成小学校にさせていただきました。

また、東部教育事務所指導主事による、全国学力・学習状況調査を活用した授業改善に係る説明を行いました。さらに、県教育局市町村支援部義務教育指導課による指導及び情報提供を行いました。

【成果報告】

『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業

- 松伏町教育委員会
- 松伏町立松伏第二小学校

「学力向上研究校指定事業」

- 三郷市教育委員会
- 三郷市立彦成小学校

松伏町教育委員会・松伏町立松伏第二小学校の成果報告

● 松伏町教育委員会

(1) 研究主題

豊かな文化の担い手と思いやりのある心をはぐくむ松伏の教育
～心豊かにたくましく生きる松伏の子の育成～

(2) 研究の実践(抜粋)

- ① 松伏町学力向上プランに基づく学力向上策の推進
 - 松伏授業プランによる授業改善
 - 教員の指導力の向上
 - 個に応じた指導の充実

- ② 町内全小・中学校における共通取組事項
 - 授業の約束「5校はひとつ松伏っ子」の定着
 - 家庭学習の充実
 - 松伏町学力向上推進委員会での各校の実践共有
- ③ 成果と課題
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。
 - 今後も、児童生徒や教職員の状況を的確に把握し、指導助言を進めていく。



●松伏町立松伏第二小学校

(1) 研究主題

学習意欲が高く、主体的に学ぶ児童の育成
 ～「できた！わかった！楽しい！」を実感できる授業づくり（算数科）～

(2) 研究の実践（抜粋）

- ① 授業改善・授業力向上に向けての取組
 - 少人数・習熟度別・TT等の授業形態の工夫
 - 多くの目で児童理解を深めて実施する個別支援
 - 児童の思考が広がるノートの展開
- ② 家庭学習が主体的な学びの場になるための取組
 - めざせ4冊！家庭学習大作戦
 - 個に応じた宿題の提供
- ③ 自分に必要な学びを選択できるチャレンジタイムの取組
 - チャレンジプリントの作成
 - コバトンのびのびシートを活用したマイカルテの作成準備
- ④ 成果と課題
 - 「学習意欲を高めるために」という視点で、教職員が自分の実践を振り返り、学校全体の教育力の向上につながった。
 - 今後も、各部会等で話し合った内容を実践につなげていく。

三郷市教育委員会・三郷市立彦成小学校の成果報告

●三郷市教育委員会

(1) 研究主題

『身に付け、活用』を目指す三郷の授業
 ～授業力向上・授業規律の徹底について～

(2) 研究の実践（抜粋）

- ① 授業力向上

- リーフレットの作成・活用
- 教師道場
- 合同教科会（中学校）
- ② 授業規律の徹底
 - 授業の心得
 - 生徒指導×学級経営
- ③ 成果と課題
 - 「身に付け活用を目指す三郷の授業」について、市内全小中学校において、子供の姿で評価する視点を定め、授業を展開することを周知・徹底することで、各学校で具体的な授業改善が推進されている。
 - 学ぶ意欲の向上や個別指導の充実を図るとともに、学力上位者をさらに引き上げるための具体的な手立てを講じていく。



●三郷市立彦成小学校

(1) 研究主題

気力あふれる児童の育成

～自己肯定感を高め、自己効力感を養う取組をとおして～

(2) 研究の実践（抜粋）

① 授業に係る取組

- 意図的習熟度別授業の取組
- 振り返りチェック10 3・9 (Thank you) シートの活用
- 全学年研究授業

② 授業外に係る取組

- 算数チャレンジランキング
- パワーアップ教室
- 家庭学習の充実

③ 研修

- 三郷市「教師の心得」研修会
- 学力・学級経営力向上研修会

③ 成果と課題

- 全学年1 研究授業を行うことで、教師の教材研究力や指導力の向上につながり、意欲的に授業に取り組む児童が増えた。
- 自己効力感を醸成し、あきらめずに最後まで問題に取り組む児童を育てていく。

「全国・学力学習状況調査を活用した授業改善」

● 東部教育事務所 学力向上推進担当

- 各学校へのメッセージとして
- 各教科の調査問題について
- 授業改善の視点 (例)

各学校へのメッセージとして・・・

- 全国学力・学習状況調査は、学習指導要領で求めていることを、問題の形で分かりやすく表しています。
- 調査の対象学年や対象教科だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。
- 「解説資料」や「調査問題活用の参考資料」などを積極的に活用し、授業改善を図っていきましょう。

授業改善の視点(例) 中学校・国語

指導事項を押さえ、言語活動を通じた学習指導の工夫を図る。

例) 新入生に対して、中学校生活の魅力を紹介するためのスピーチをする活動

○ 目的意識
何のために報告したり紹介したりするのか

○ 相手意識
相手は、その話題についてどのような点に関心があり、どのような情報をすでにもっているのか

必要な資料や機器を検討すること

- どのような資料や機器をどのように用いればよいのか
- 伝えたい内容を適切に伝えるために有効か

授業改善の視点(例) 算数・数学

【例】 数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する学習の流れ

導入 → 展開 → まとめ・振り返り

児童生徒が目的意識をもって主体的に取り組める学習課題を設定

自力解決
・解決過程を振り返り得られた結果の意味を考察
・他者の考え等を踏まえながら統合的・発展的に考察

学びの工夫
・児童生徒の言葉を生かしたまとめ
・授業の振り返りを自分の言葉で記述

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手立て(例)

- ICTや図、具体物等を活用して、視覚的にイメージをもたせたり、体感させたりして算数・数学に対する興味・関心を高める学習活動
- 「なぜ、や「どのように」などの疑問を通して、理由や根拠を踏まえながら考えさせたり説明させたりする学習活動
- 言葉や数式、図、表、グラフなどの表現を適切に用いて、事象を数学的に語彙かつ明確に表現する学習活動

算数・数学のよさや楽しさを子供たちに実感させる授業改善に取り組んでいくことが大切

授業改善の視点(例) 中学校・英語

まともな文章を書くために、「話して書く」「読んで書く」等、領域を統合した指導を行う。

【ポイント】

- ・ ただ書くことだけを取り上げるのではなく、事前・事後の活動と組み合わせる指導をする。
- ・ あるテーマについて、生徒同士でやりとりしたり、テーマについて簡単な英文を読んで、予備知識を活性化させたりしてから、自分の考えや気持ちを整理して書く。
- ・ 相手に伝わる文章になっているか修正して正確さを高めたり、互いの文章を読み合い、伝え方についてコメントを述べたりして、内容を推敲して書く。

書くことに触れる機会を増やすための指導を行う。

【ポイント】

- ・ ゼロから書くのではなく、教科書のモデル文の一部を自分の事に変えることでオリジナルにする。
- ・ 語彙や表現例を示し、書きやすくする。
- ・ 絵や写真の様子を説明してから書くなど、客観的に物事を捉え書きやすくなる。

書くためのテーマ → 自分の考えを持ち相手とやりとりしたり読んで感想をつかむ(予備知識) → 整理して自分の考えや気持ちを書く → 内容を推敲してより正確に書く

教科書のモデル文、テーマに関する語彙、意見を述べる定型の表現

「指導及び県からの情報提供」

● 県教育局市町村支援部 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当 中谷 樹 主任指導主事

「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善 ～『良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業』に係る映像資料の活用について～」

【内容】

- 松伏町、三郷市の御発表に寄せて
- 主体的・対話的で深い学びの背景
- 主体的・対話的で深い学びの例
- 良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業について
- 良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業の授業映像例の紹介

